

小谷村公民館「ふるさと再発見！」講座 平成29年度 第一回 小谷の民家と職人技に学ぶ・ 杣(ソウマ)職編

太いケヤキの大黒柱、根曲がりの木を巧みに組んだ化粧梁(はり)など、昔ながらの民家は、小谷の職人ならではの知恵と技の結晶でできています。

大北地方や糸魚川地方の民家との比較しながら、小谷に固有な民家の特徴などを現地調査に関わった研究者・実務者から、また木材の選び方や見通した材の伐り出し、板など材料の挽き方を、杣(ソウマ)職人から学びます。

※ 杣(ソウマ)：かつて、施主から依頼を受け、大工職の板図ひとつから、建築に必要な材を割り出し、様々な杣道具を用いて、山から木を伐り出し、柱や板を挽いた職人のこと。木挽き(コビキ)とも言い、熟練した知識と技術を持つ。



開催日 平成29年6月25日(日)
13:30~16:30

講師 信州大学工学部建築学科准教授
梅千野成央さん
被災建物・史料救援ネット共同代表
長谷川順一さん
杣(ソウマ)職人
山本国弥さん

場所 中土交流センター「やまつばき」会議室、および「おらが里」
日程 13時30分~ 小谷の民家の特色について
14時00分~ 対談「木の切出しから家を建てるまで」
15時30分~ 「おらが里」にて前引き(大ノコギリ)の実演見学
(実演は雨の場合中止になることがあります。)

定員 25名 受講料 500円

募集期間 6月16日(金)までに公民館(電話82-2587、FAX82-3164)に
申し込んで下さい。

今後の「ふるさと再発見講座」の予定

- ☆小谷の歴史に学ぶ 小谷の古文書から歴史を読む 9月2回
- ☆小谷の自然に学ぶ 飛べアサギマダラ! 9月1回
- ☆小谷の大地に学ぶ 地形地質と探石会、原石鑑定会 10月1回
- ☆小谷の民家建築と職人の技に学ぶ・大工職編 10月1回